



Liebe Ute!

Solange habe wir uns nicht gehoert , Wie geht es Dir?

Wie du auch schon mitgekriegt habt, nach der 3.11 zweifeln wir uns immer noch um Strahlungs vergift.

Im Fruehsommer habe ich mit einem Kollege Basist zusammen eine Aktion gemacht. Ausfuehrlich bitte lies andere Brief. Wenn du unsere CD unterstuetzen koenntest, bin ich sehr froh.

Ganz schoen gegruesst von Kyoko in Fujino Herbst 2011.

Herzlichst von Kyoko



P.S. ushio Sakusbe ist mein Mann!

De-Nukleare Aktion

Fujino, den 15. Oktober 2011

Nach der Katastrophe der Fukushima-daiichi Atomkraftwerk wusste ich nicht was ich machen kann oder machen soll, oder ueberhaupt wie unsere Japan weiter sein wird. Inzwischen ging viel loss, Anti-Nukleare bewegungen, -Gespraech unter den Leuten, indem wir uns immer fuehlen die Bedrohung der Strahlung der Nuklear Macht.

Ohne einen Unfall, der geregelt wird, sind viele Kinder in der Fukushima zu andern Oerter gezogen fuer ewig oder zumindestens zum Besuch waerend ihrer Sommerferien unter den schoenen Sonnen frei und lachend zu spielen. Trotz schwuelles Sommer mussten sie in Fukushima immer ihre Hemd und Hosen mit langen Aermen und werden beschraenkt draussen zu wandern oder. Ein Kleines, das mit seiner Mutter Hokkaido nordlichste Insel des Japans gelandet hat, fragt zu erst an seine mutti "Mami, hier darf ich normal atmen?"

Auch unter KuenstlerInnen Freunde wird es ueber die Situation geredet. Murosaka Kyoko (piano) und Mizuno Shunsuke (woodbase) waren geeignet, dass sie eine Musik CD als Zusammenarbeit herzustellen, damit sie die netto Einkommen fuer NPO Citizens' Nuclear Information center (<http://www.cnic.jp/english/>) beizutragen. Die beide arbeiten seit 3 Jahre oft zusammen. In diesem CD werden die originale Stuecke von den Beiden und einige Klavierstuecke von J. S. Bach, die Murosaka bei der anderen Charity-Konzert mit einer Kuenstlerin kollaboriert werden, zu hoeren. Dieses Sommer hat Mizuno bei der Vernissage des "Darklight" im Rahmen der Kuenstlertage Hermannshof in Springe-Voelksen eingeladen und er hat dort seine "Fukushima" als solo uraufgefuehrt. Seine Auffuehrung bekommt einen guenstigen Empfang. Die Bilder der Decke ist auch eine neue Werke, die von Nishimura Shigeru fuer diese CD extra gemacht hat. Nishimura Shigeru ist ein Maler fuer Kinderbuecher ueber Hiroshima (<http://www.ehonnavi.net/ehon/19528/HIROSHIMA/>) u.s.w. hergestellt hat. Alle 3 KuenstleInnen wohnen in Fujino.

Die CD ist am 21. Aug. 2011 hergestellt und wird mit ¥1000 oder mit € 10 pro CD verkauft. Die netto Einkommen werden fuer NPO Citizens' Nuclear Information center beitraegt. - Diese Center ist eine von wichtigen japanischen Thinktank, die man glauben kann, die weiter von Voelkern unterstuetzt werden soll. In dieser Herbst werden einige Konzerte von den Beiden, die sie hauptsächlich auf diesem Gedanken machen, in und um Tokyo stattfindet, um dieses Aktion unterstuetzt zu werden.

On Deutscland kann man die CD bei der folgende Adress bestellen.

Frau Look

Christian Jensen Kolleg

Evangelisches Regionalzentrum Westküste

Japanisch-deutsches Kunst-und Kulturprojekt

Kirchenstrasse 4-13

25821 Breklum

Tel. 04671 - 911215

Liebe deutsche FreundInnen!

Troz Herbst ziehen die Familien mit Kleinen Kindern nach Suedwest Japan um, und hier in Ost japan fuehlen sie noch unruhig.

Hiermit bitte ich Ihre Unterstuetzung fuer unsere Aktion, um De-Nuklear in Japan zu realisieren!

Mit herzlichen Gruessen

Ihre MUROSAKA Kyoko

549 Nagura, Midoriku

Sagamihara, Kanagawa

252-0187 JAPAN

Telfax; 050-7517-3698

mayuya@music.plala.or.jp

<http://mayuya.net/>

緊急発売

脱原発CD

「FUKUSHIMA」

ピアノ：室坂京子 * 5弦ウッドベース：水野俊介

あれから....

2011年3月11日以降、目をそむけることができない現実が次々に現れ、私たちの意識はずいぶん変わりました。今、一人一人がこの瞬間にできることを考え動き、前を向いて少しずつでも歩んでいこうとしています。

そして、音楽家ができること。

室坂京子は震災直後にピアノに向い、言葉にできない思いを鍵盤にのせました。

それをのちに水野俊介が紡ぎ、生まれたのが「After 3.11」

また彼自身も震災や原発事故の悲しみや怒り、全ての感情をこめて「FUKUSHIMA」を作曲しました。

6月に東京・青梅市の蕨蔵で行われた東日本大震災と福島第一原発事故の被災者支援のためのチャリティART&LIVEでの演奏をきっかけに、CD「FUKUSHIMA」が制作されました。

CDの純益のすべては脱原発をめざしているNPO法人原子力資料情報室へ寄附されます。

小さな声もやがては大きな力の礎となることを願っています。

※NPO法人原子力資料情報室・・・核化学者・高木仁三郎氏らにより原子力に依存しない社会「脱原発」をめざし作られた非営利の調査研究機関。
日本政府や企業から独立した立場から原子力政策の監視・分析・提案を行っている。http://cnic.jp/

ピアノ：室坂京子

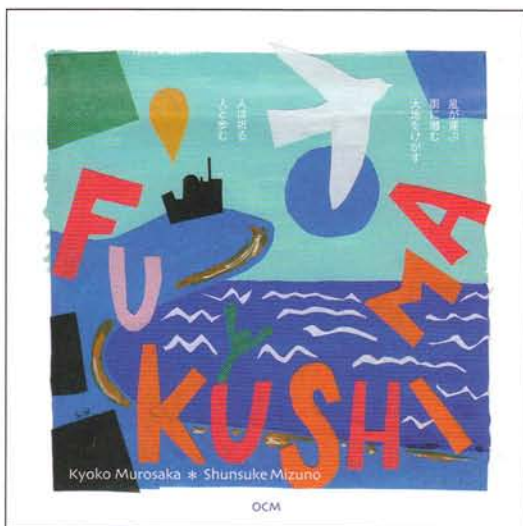
幼少よりピアノに親しみ、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科卒業。クラシックピアノの基礎をもとに即興演奏を探り始める。1990年以降ドイツ、日本で同時代を生きるアーティストたちとの即興コラボレーションを数多く経験、また多くのミュージシャンより共演ピアニストとして選ばれている。http://mayuya.net/

5弦ウッドベース：水野俊介

'80年よりボストンパークリー音楽院に留学、本格的にJAZZを学ぶ。友部正人、日向敏文など多数のレコード、CDに参加。'95年に「OCMレコード」を設立し現在までに11枚のCDをリリース。'05年にドイツのOzella MusicよりCDがリリースされヨーロッパを中心に展開。'11年8月にはドイツ・ハノーファーにおける現代美術展にてソロ演奏を行い、今回の曲「FUKUSHIMA」も好評を得た。作曲や演奏、CD制作の他に、演劇・美術・映像とのコラボレーションなど幅広い活動を行っている。



2011年6月5日 蕨蔵・ART&LIVEにて



OCM2-201

¥1,000(税込)

FUKUSHIMA

ピアノ：室坂京子 5弦ウッドベース：水野俊介

1. 前奏曲 変口短調 BWV.867 (J.S.バッハ)
2. FUKUSHIMA (作曲:水野俊介)
3. アリア ト長調 BWV.988 (J.S.バッハ)
4. After 3.11 (即興創作:室坂京子)
5. フーガ 変口短調 BWV.867 (J.S.バッハ)
6. しずかに世界を想う時 (作曲:水野俊介)

録音：水野俊介・OCM Fujino Studio 2011年7月 マスタリング：ガイン
<ジャケット> イラスト：西村繁男 コピー：庭崎正純
<リーフレット> 画：井上厚 英文監修：ニック・ジャマンティス
プロデュース：水野俊介、室坂京子 デザイン：maiko

協賛：チャリティーART & LIVE in OME実行委員会、青梅・蕨蔵
制作・発売：OCMレコード

お問合せ

OCM Records
Oriental Contemporary Music

〒252-0186 神奈川県相模原市緑区牧野4303-14
Tel. 042-649-5218 Fax. 042-649-5219

E-mail: mizunos@iris.dti.ne.jp
http://www.iris.dti.ne.jp/~mizunos

FLOATING WAVE 2011

- 浮波曲線 2011 -



浮波曲線 2009-1 メタルアートミュージアム 光の谷



浮波曲線 2009 (昇竜) 中之条ビエンナーレ 2009



浮波曲線 2009-2 メタルアートミュージアム 光の谷

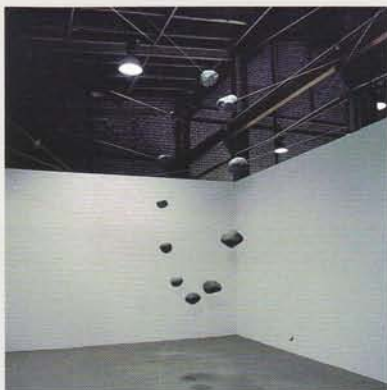
サクサベウシオ展

Ushio Sakusabe Exhibition

2011年9月10日(土)～17日(土)

12:00～19:00 (最終 17:00 まで)

Gallery Brocken



「浮直石環-引力圏から逃げるために」1996年



「浮円弧」2004年

歪みの構造—新たな社会デザイン創出への手がかかり

1996年、ドイツのハンブルクで開かれた「IKO-TRANSPOSITION」という展覧会で、サクサベウシオは「浮直石環—引力圏から逃げるために」という作品を発表した。これは12個の石を四方の壁や梁からワイヤーで1個ずつ吊り、最終的に中空で石の円環を描くものであった。それは人為を感じさせないほど正確に配置され、その分、不規則に張り巡らされた無数のワイヤーの線がそこにかかる力の量や複雑さを視覚化させていた。

ギャラリーを取り囲む壁や天井、床などは、あたかも重力など存在しないがごとく整然と佇んでいる。しかしそれらを静止させるため、引力や張力、質量といった物理現象がそこには潜んでいる。サクサベはこの作品によって、空間に隠れていたそれらの力を白日の下に晒したのだった。

時が過ぎて2004年、私は「Zeit・青森の+県外の芸術家たち=ACAC」展に出品された「浮円弧」を見た。この展覧会が行われた国際芸術センター青森は、円形構造を持つユニークなギャラリー空間を特徴としている。その円弧状の空間に対しサクサベは、束ねた鉄筋を中空に浮かしそこに重量感のある石を乗せて、縦方向にたわむ大きな円弧を対比させた。

ギャラリーの壁は、会場に立つ者を取り巻くように左右に閉じていく。そのためその空間は、横方向の向心力を常に見る者に与え続ける。一方で作品の円弧は、それと交差するように縦方向へと引き寄せる。この2方向の歪みの狭間に立って、私は浮遊するような心地よさを感じていた。さてこの鉄筋の曲線は、一見するとあたかも石の重みでたわんでいるように見える。言い換えれば、中央に近づくにつれて大きくなる重力の存在を意識させられる。しかし、自然の力だけではこのような曲線は決して現れない。実は、この鉄筋の束はあらかじめ円弧状に成形されており、あとからそこに石を乗せたものなのだ。

その点でこの表現は、前述のハンブルクでのやり方と大きな対照を見せている。つまり、引力を利用して作品に形態を与えるのではなく、あたかも引力が生み出したかのような形態を空間の中で演出していたのだ。この作品を見たとき私は、サクサベが新たな制作の段階に入ったことを確信した。

サクサベは、微妙なバランスで静止する形態によりその周囲に充満する力を顕在化させてきた。ところがある時期から、実際にはあり得ない重力や張力を、あたかもそれが存在するかのよう空間の中で演出する方向へと展開した。人工的な歪みを空間に忍び込ませることで、今までなかった緊張とダイナミズムをそこにもたらしたのである。

空間というのはその形状に応じて、私たちの心理に一定のバイアスをかけている。しかしそれは意識化されないまま、心の奥にある偏りを形成していく。サクサベは作品の置かれる場の歪みを発見し、それを顕在化させるための力学的法則を探し出す。そしてそこに新たな磁場を組み込むことで、人々をこうした心理的な抑圧から解放しようとしているのかもしれない。

サクサベウシオ Ushio Sakusabe

松永康 (アート・コーディネーター)

秋田県生まれ

1979 東京造形大学彫刻科卒業

1981 多摩美術大学大学院美術研究科修了

主な個展

1991「石環 1991」神奈川県民ホールギャラリー / 横浜市、神奈川県

1993「石環 1993-2」東京都美術館 / 上野、東京都

1996「浮石環 1996」リュウベック私立ブルククロスター美術館 / リュウベック、ドイツ

2004「浮波曲線 2004」ハーゲンビュッハー倉庫美術館 / ハイムプロン、ドイツ

2006「浮石 -ARCH 2006」ネッカー川アートプロジェクト / ニュルティンゲン、ドイツ

2008「浮石 2008」ZAIM (旧関東財務局) / 横浜市、神奈川県

2009「浮波曲線 2009」メタルアート美術館光の谷 / 印旛村、千葉県

主なグループ展

1990「ニューヨーク・東京」展 / ワードナッシーギャラリー / ニューヨーク、アメリカ

1995 第30回今日の作家展「洋上の宇宙」 / 横浜市民ギャラリー / 横浜市、神奈川県

1996 ハンブルグ日本現代美術展「移項」 / カンプナーゲル K3 / ハンブルグ、ドイツ

1999 ランドアート展 / デルザウ、ドイツ

2002 国際自然環境美術展 / ソウルアートセンター / ソウル、韓国

2004 Zeit・青森の+県外の芸術家たち展 / 国際芸術センター青森 / 青森市、青森県

錦江国際自然美術展ビエンナーレ 2004 / 公州情報美術大学 / 公州、韓国

2006 越後妻有アートトリエンナーレ 2006 / 彦坂尚嘉+《気派》田麦《とまとアートの館》 / 田麦、新潟県

横浜の森美術展「創造と森の声」2006 / 横浜動物の森公園予定地 / 横浜市、神奈川県

2007 中之条ビエンナーレ 2007「芸術回帰」 / たけやま公園 / 中之条町、群馬県

第10回我孫子国際野外美術展、宮の森公園 / 我孫子市、千葉県

2008 錦江国際自然美術展ビエンナーレ 2008 / イエオンミサン / 公州、韓国

2009 タイ・日本交流彫刻シンポジウム / チェンマイ大学美術学部ギャラリー / チェンマイ、タイ

中之条ビエンナーレ 2009 / 道の駅霊山たけやま / 中之条町、群馬県

URL <http://www.ushiosakusabe> <renewal>



東京都小金井市本町 3-4-35 (武蔵小金井駅徒歩 12 分)

tel&fax 042-381-2723 <http://gallerybrocken.com>